



# 鹿骨東小学校



鹿骨東小学鹿骨東小学校公式ホームページ <http://edogawa.schoolweb.ne.jp/shishibonehigashi-e/>

## リスクマネジメントとクライシスマネジメント

鹿骨東小学校校長 中田 伸代

リスクマネジメントとは、企業活動に伴う、様々な危険を勘案（かんあん）し、損失を最小限に抑える管理運営方法（広辞苑より）の事です。将来的に起こりうるリスクを想定し、リスクが起こった場合の損害を最小限に抑える為の対応です。学校で言えば、避難訓練や校内施設の安全点検、教員たちが行っている様々な研修（AEDを使った心肺蘇生法研修、アナフラキシーショックが起きたときのエピペン研修等）をあらかじめ行い、子供たちが安全に学校生活を送ることができるように、努めています。地域の皆様による交通安全の見守りも、リスクマネジメントの一つ。子供たちの安全を守って下さっています。また、クライシスマネジメントとは、危機は必ず発生するものと言う前提に基づき、人や機械・設備などが機能不全に陥ることを覚悟の上で、初期対応や二次被害の回避を行うこととされています。つまり、リスクマネジメントは事前策。クライシスマネジメントは事後策という理解ができます。

東日本大震災から12年が経ちます。福島第一原子力発電所の事故は、津波が起きることを予想できたのにもかかわらず、対処をしてくれなかったことによる、人災だったとも言われています。そのときにとった行動で、助かった命や失われた命がありました。大きな災害が起こったとき、私たちはそのときその場で最善だと考える方法で身を守るしかありません。しかし事前に考えていたことは容易に行動につながる、これが「避難訓練」と「防災マニュアル」の発想です。

9月30日の「ほねっこまつり」では、江戸川区危機管理部と鹿骨事務所地域サービス係、鹿骨東小学校避難所開設メンバー、鹿骨3丁目町会、西篠崎町会、そして小岩消防署と鹿骨東小学校PTA、おやじの会の皆さん、そして保護者や子供たちが参加して、防災体験を行いました。「公助と共助と自助」のこの3者が顔を合わせて、来たるべき「危機」に思いをはせて、防災体験をする事は大変重要で大きな意味があったと考えます。地域の皆様のマンパワーを強く感じたイベントでした。

当日は4年ぶりの、「相撲教室」も開催されました。東小岩にある田子の浦部屋の力士の方と、江戸川区相撲連盟の皆様による相撲教室。大きなお相撲さんに、体当たりをする子供たち。「礼に始まり、礼に終わる」相撲の心を学び、普段はできない貴重な体験をさせて頂きました。秋場所が終わったばかりでお疲れのところ、ゲストティーチャーとして参加して下さった、田子の浦部屋の皆様、コーディネーターを務めて下さった、江戸川区相撲連盟の皆様、ありがとうございました。最後になりましたが、焼きそばや、フランク、かき氷などを提供し、子供たちの心に残る1日を企画・実施して下さいました鹿骨東小学校PTA、おやじの会の皆様、ご協力頂きました関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。



防災体験（町会・区）



相撲教室（学校・PTA）

心肺蘇生法体験（小岩消防署・PTA）



◆10月4日の読売新聞朝刊（全国版）に鹿骨東小とベトナムの交流の様子が紹介されます。